

製品名: VEGFA マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM81637**

研究使用のみ

概要

| | |
|--------|---|
| 説明 | マウスモノクローナル抗体 |
| 宿主 | ねずみ |
| 応用 | WB,ELISA,FC |
| 反応性 | 人間 |
| 標識 | 非共役 |
| 修飾 | 未修正 |
| アイソタイプ | Mouse IgG1 |
| クローン性 | モノクローナル |
| 形態 | 液体 |
| 濃度 | 1mg/ml |
| 保存 | アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。 |
| 輸送 | 氷袋 |
| バッファー | 0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体 |
| 精製 | アフィニティー精製 |

応用

| | |
|------|---|
| 希釈倍率 | WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400 |
| 分子量 | 27kDa |

抗原情報

| | |
|--------------|--|
| 遺伝子名 | VEGFA |
| 別名 | VPF; VEGF; MVCD1 |
| 遺伝子 ID | 7422.0 |
| SwissProt ID | P15692 |
| 免疫原 | 大腸菌で発現したヒト VEGFA (AA: 207-371) の精製された組み換え断片。 |

背景

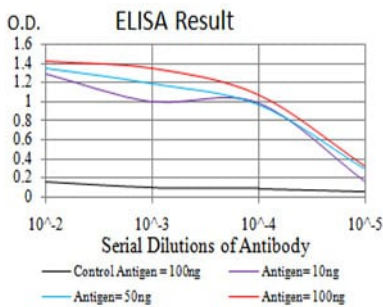
この遺伝子は PDGF/VEGF 増殖因子ファミリーのメンバーです。ジスルフィド結合ホモ二量体として存在するヘパリン結合タンパク質をコードしています。この増殖因子は血管内皮細胞の増殖と遊走を誘導し、生理的および病的な血管新生に不可欠です。マウスで

この遺伝子を破壊すると、胎児期の血管形成に異常が見られました。この遺伝子は多くの既知の腫瘍でアップレギュレーションされており、その発現は腫瘍の病期および進行と相関しています。このタンパク質の高レベルは、クロー・フカセ症候群としても知られる POEMS 症候群の患者で認められます。この遺伝子の対立遺伝子変異体は、糖尿病 1 型 (MVCD1) の微小血管合併症およびアテローム性動脈硬化症と関連付けられています。異なるアイソフォームをコードする選択的スプライシング転写バリエーションが報告されています。また、上流の非 AUG (CUG) コドンからの選択的翻訳開始によって、さらなるアイソフォームが生じるという証拠もあります。最近の研究では、C 末端が延長されたアイソフォームが、代替のインフレーム翻訳終止コドンを用いた終止コドンリードスルー機構によって生成され、このアイソフォームは抗血管新生作用を示すことが示されました。AUG 開始コドン由来のアイソフォームの中には、内部リボソーム進入部位に位置する上流の小さなオープンリーディングフレームによって発現が制御されているものがあります。

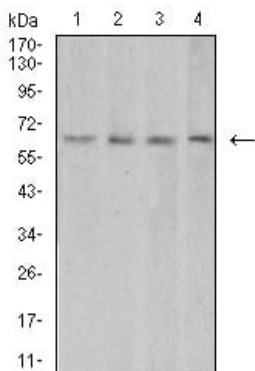
研究分野

PI3K-Akt シグナル伝達経路

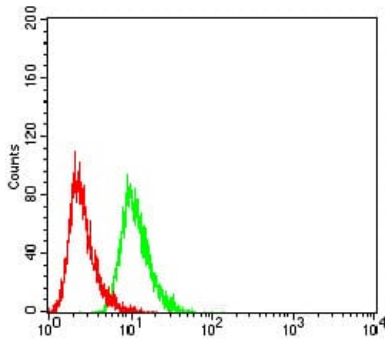
画像データ



黒線: コントロール抗原 (100 ng) ; 紫線: 抗原 (10 ng) ; 青線: 抗原 (50 ng) ; 赤線: 抗原 (100 ng)



HUVEC (1)、HEK293 (2)、Jurkat (3)、および Hela (4) 細胞溶解物に対する VEGFA マウス mAb を使用したウエスタンブロット分析。



VEGFA マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (赤) を使用した Hela 細胞のフローサイトメトリー分析。